



#### 学校説明会【要web予約】※上履きの持参をお願いします

9月 9日(土)10:00~11:30

11月 11日(土) 9:00~12:00 \*入試問題体験会を並行開催

12月 9日(土)10:00~11:30

1月 13日(土) 9:00~12:00 \*入試問題体験会を並行開催

※ご希望の方には、施設をご案内します

#### 水曜ミニ説明会【要web予約】

※実施日時につきましてはHPでご確認ください

#### 入試問題体験会【要web予約】

11月 11日(土) 9:00~12:00

1月 13日(土) 9:00~12:00

※2科目型(国・算)、4科目型(国・算・理・社)、適性検査型(I・II)のいずれかを選択してください

※学校説明会と並行開催となります

#### 楠木祭(文化祭)

9月23日(土・祝) 9:00~15:00

#### オープンスクール【要web予約】

8月 11日(金・祝) 10:00~13:00

公開行事はすべて、WEB予約制となっております。

今後状況によっては、開催日時の変更や中止の場合もありますので、必ずHPでご確認ください。

#### [6年一貫教育]



# 敬神

# 愛人

それゆえ、信仰と、希望と、愛、  
この三つは、いつまでも残る。  
その中で最も大きいなるものは、愛である。

コリントの信徒への手紙一 13章13節



## ■ 院長メッセージ

### 院長 二瓶 淨幸

最大の環境破壊である戦争や大規模自然災害等によって世界の諸課題は深刻度を増し、これまでに例のないペースで難民及び避難民が増え続けています。第2次大戦の反省に立って創設された横須賀学院は、キリスト教に基づく平和教育を見えないカリキュラムとして継承してきました。イエスは山上の説教の中で「平和をつくり出す人は幸いである」(口語訳)と祝福しました。つまり、平和は何もしないで自然に保たれる訳ではなく、具体的で創造的な働きによってこそ実現すると教えられました。横須賀学院は「敬神・愛人」を柱とする建学の精神によって豊かな人間性を養い、世界の隣人とと共に未来をつくるグローバルシチズン(地球市民)を育成します。



# 建学の精神

## 「敬神・愛人」

「敬神」とは、人間が自己中心的に行動することを戒め、神を敬い、謙虚に自己を認識することを意味しています。

「愛人」とは、自分と他者は神の下でみな平等であって、他者をかけがえのない人格として尊重する心を意味しています。

横須賀学院は、この「敬神・愛人」を教育の基本精神としたキリスト教教育を行っています。

## ミッションステートメント

横須賀学院は キリスト教の信仰に基づく教育によって  
神の前に誠実に生き 真理を追い求め  
愛と奉仕の精神をもって 社会に 世界に対して  
自らの使命を果たす 人間の育成を目指します



## ■ 校長メッセージ

### 校長 川名 稔

本校は建学の精神である「敬神・愛人」のもと、キリスト教に基づく人格教育を実践し、「如何に生きるべきか」を一人ひとりに問いかけています。中学・高校時代は失敗体験から多くのことを学び、それを成長の糧にできるかけがえのない時です。誰にでも与えられたタレント(賜物・資質・天分)を遺憾なく発揮し、失敗を恐れず、前向きに歩むよう常に呼びかけています。自分の可能性を信じ、お互いに支え合い、励まし合える教育共同体でありたいと思っています。急速に変革する社会に対応するために、本校ではより良い学習環境を構築するための具体的・魅力的なプログラムを実践しています。与えられたミッション(使命・天命)を自覚しつつ、自分を愛するように、隣人を愛する心優しい人に育ってほしいと願っています。



# 経験を 力に

一人ひとりの  
未来につながる

横須賀学院での学び



高校3年 高橋佳乃子さん

友人たちとの思い出は数えきれないほど  
最高学年として部活動も引っ張っていきたいです

周りの友だちのことは中学から知っているので、お互いの  
良いところを理解し合っていて、男女問わず仲が良く、クラス  
でも部活動でも楽しい毎日を過ごすことができています。高  
校3年になり、吹奏楽部の後輩を引っ張っていかなければな  
りません。責任もありますが、部内で温かい雰囲気を作れる  
ように心がけています。

4技能を伸ばせる英語の授業が魅力  
英語で意思疎通できるようになりたいです

僕は教科の中でも特に英語が好きです。授業にオンライン英会話や、フォニックスを取り入れてくれるので、教科書を  
読むだけでは身につかない英語の基礎力をつけることができます。iPadを使って英語4技能を効率的に修得できるのも  
魅力。英語の力を磨き、海外の人とも英語でコミュニケーションが取れるようになりたいです。



進学先  
国際基督教大学  
教養学部  
アーツ・サイエンス学科  
池上瑠空アルバートさん



進学先  
青山学院大学  
理工学部  
経営システム学科  
金子知可さん



進学先  
青山学院大学  
法学部 法学科  
勤務先  
横浜市役所  
事務職  
榎原茉佑さん

この学校で学んだことが社会に出てからも  
心の支えになっています

6年間で学んだのは、感性の大切さと挑戦することの大  
切さ。社会人になった今もそれは私の心の軸になっていて、与  
えられた業務をこなすだけではなく、資格取得に挑戦するな  
ど、目標に向かって努力しています。入学前よりも今の自分  
が好きになれたのは、学校生活での経験や支えてくれる人た  
ちとの出会いがあったからです。



高校2年 志村知紀さん



中学2年 田中希実さん



中学2年 紙谷正真さん

友人たちとの思い出は数えきれないほど  
最高学年として部活動も引っ張っていきたいです

周りの友だちのことは中学から知っているので、お互いの  
良いところを理解し合っていて、男女問わず仲が良く、クラス  
でも部活動でも楽しい毎日を過ごすことができています。高  
校3年になり、吹奏楽部の後輩を引っ張っていかなければな  
りません。責任もありますが、部内で温かい雰囲気を作れる  
ように心がけています。

英語のおもしろさに気づき、他の語学にも  
興味をもつようになりました

英語の力を伸ばしたくて、授業を集中して受けています。  
テスト前にはスケジュールを立てて計画的に勉強。テストで  
良い結果が出た時、先生と一緒に喜んでくれたのでますます  
がんばろうと思うようになりました。最近は、英語はもちろん、  
他の語学にも興味がわいています。もっと勉強して将来は語  
学に関する仕事がしたいです。

1年間で自主的に行動できる自分に成長  
勉強と部活の両立を頑張りたいです

僕は、勉強と陸上競技部の両立に力を入れています。専  
門の短距離走でベスト記録を出すことや強いチーム作りを目  
標にしながら、これから時代、必須となる英語には今のうち  
から取り組んでいます。何でも進んで積極的に取り組むよう  
になり、入学時に比べると、考えて行動できる自分に成長して  
いるのを実感しています。

# Christian Education

## キリスト教教育

自分に与えられた賜物を磨き、  
自分を愛するように他者を愛する隣人愛の心を育てる

横須賀学院は、一人ひとりが神から愛されているかけがえのない存在であるというキリスト教の人間観に立って教育を行っています。その中で、互いを大切にしあい、他者に奉仕する生き方を日々の礼拝やキリスト教行事を通して学びます。



### 自らの人生の幅を広げる隣人愛の実践 キリスト教教育の4つの柱

横須賀学院の一日は、讃美歌を歌い、聖書の教えに耳を傾け、祈りを捧げる礼拝から始まります。毎日の礼拝だけでなく、年間を通じて聖書の授業を行い、キリスト教について学びます。多くのキリスト教行事に参加する中で、自分自身について、また人間関係について深く考えます。



Christian Education 01 礼拝

毎朝礼拝を行い、讃美と祈りをもって一日を始めます。生徒が司会・お話を担当する「生徒礼拝」、毎月一度その月の誕生者を祝う「誕生礼拝」も行われています。



Christian Education 03 聖書の授業

6年間を通じて週に1回、聖書の授業を行っています。聖書やキリスト教の基礎的な知識を学ぶとともに、聖書の世界にふれ、「自分で考える」ことを大切にしています。



Christian Education 02 宗教行事

誕生礼拝、花の日礼拝、収穫感謝礼拝、クリスマス特別礼拝などの礼拝行事のほか、クリスマスページェントなど、さまざまな宗教行事を神様におさげています。



Christian Education 04 奉仕

学校生活の中で、キリスト教精神を具体的にあらわす活動として、チャペル委員、キリスト教青年会、聖歌隊、ハンドベル・クワイアがあります。学内外の様々な場面で、自らを活かす奉仕活動を、喜びをもって行っています。

# Global Education

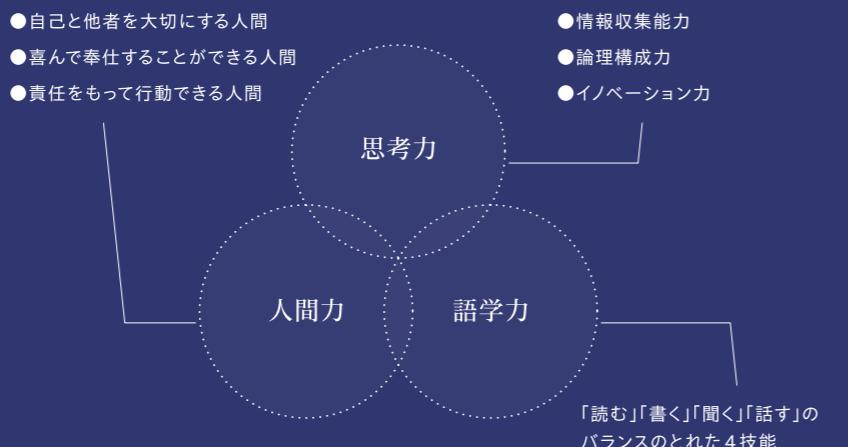
## グローバル教育

キリスト教を土台としたグローバル教育で  
世界の隣人と共に生きる力を育てる

横須賀学院では一貫コースならではのメリットを生かしたグローバル教育を行っています。  
小学校からの12年間、中学校からの6年間一貫教育の中で、たくさんの体験を通して『世界の隣人と共に生きる』ための学びを深めます。自分が与えられている賜物を磨き育て、その力を  
他者のために生かせることを喜べる人を大切に育てていきます。

### グローバル人材に 求められる力

これからのグローバル社会を生きていくためには、語学力やコミュニケーション能力以外にも責任感や協調性、チャレンジ精神や異文化理解などさまざまな能力が求められます。横須賀学院ではキリスト教を土台としたグローバル教育を積極的に展開し、これらのスキルの習得を目指します。



### 実社会で求められる実践的な英語 英語4技能の向上

英語を習得するためには集中的に学習することも効果的ですが、継続的に英語に触れることが重要です。本校では中学1年生から英語の授業とは別に、英会話の時間が週1時間設けられています。英会話の授業はネイティブ教員1名と日本人教員1名によるチーム・ティーチングの体制を整えており、オンライン英会話も導入しています。そのため、一人ひとりの英語を話す時間が増え、今まで以上に積極的にコミュニケーションをとろうとする生徒が増えています。

### Global Education 01 フォニックス授業

ネイティブの子供たちが初等教育で導入しているものと同様に、毎週1時間、中1の英語の時間にアルファベットを組み合わせた時の発音の仕方を理論的に学びます。初めて見た単語でも、正しい発音が自然にできるようになることを目的としています。

### Global Education 02 オンライン英会話

1人1台のタブレットを利用し、全学年とも週に1回(年間で20回以上)のオンライン英会話の授業を行っています。ネイティブの先生との1対1の会話に最初は少し緊張気味の生徒もいますが、すぐに笑顔になって楽しく取り組めるようになっています。本校のネイティブ教員と日本人の英語科教員2名で、その時間をサポートしています。

### Global Education 03 検定試験へのチャレンジ

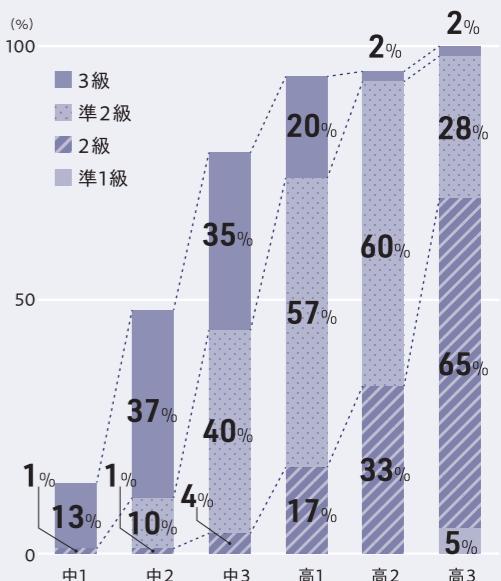
日常の学習がどのくらい身についているかを確認するために、英検の受験を奨励しています。学年目標を早々にクリアし、中2中3での英検準2級、2級の合格者も増えてきました。

### Global Education 04 国際交流プログラム(中3～高2希望者)

同世代の高校生との交流プログラムです。毎年来校するマイアミハイスクールの生徒たちとは、授業のパディーをしたり、書道や日本語のゲームなどを楽しんだりして交流を深めています。また、青山学院大学国際交流プログラムや、エンパワーメントプログラムに参加し、ディスカッションをしたり、プレゼンテーションスキルを磨く機会もあります。

### 英検取得率

取得目標を設けることで、  
自主的な学習習慣が根付く



英検受験については、各学年の目標として中1で5級、中2で4級、中3で3級の取得を目指します。  
学年目標を早々にクリアし、中2・中3で準2級や2級に合格する生徒も増えています。

## || 選べる国内外の語学研修

# グローバル教育プログラム

海外の文化や価値観の違いを理解し、グローバルに物事を考える力を 身につける。



### Global Program 01 三ヶ島

#### キリスト教を土台としたグローバル教育

横須賀学院ではキリスト教を土台とした真のグローバル教育を実践しています。中学校からの6年一貫教育を通して《世界の隣人と共に生きる》ためには何が必要かを知り、自分に与えられている賜物（タラントン）を磨き育て、それを他者のために活かすことを喜びとすることができる人材を大切に育てています。



### Global Program 02 三ヶ島

#### 世界を知る・学ぶための英語力

横須賀学院のグローバル教育は英語力の取得だけを目的とするものではありません。英語を使いこなすことはもちろん大切なことですが、語学はあくまでもツールに過ぎません。大切なことは、私たちが暮らすこの世界には平和・人権・環境など困難な問題が山積していることを知り、答えが簡単に見つからない、解決困難な課題に対してもアプローチをし、その解決のために私たちは何をなすべきかを考えることです。



### Global Program 03 三ヶ島

#### 地球市民としての視野を育む

これからの社会はグローバル化・情報化がますます加速すると同時にAI化の波がこれまでの常識を大きく変えていくことは間違ひありません。こうした社会を生きていくためには、「地球市民」として地球規模の視野で正しく物事を判断する必要があります。横須賀学院のグローバル教育はSDGsをはじめとする地球規模の問題に対しても真剣に取り組んでいます。

### Global Program 04 三ヶ島

#### 豊富なグローバル教育プログラム

中学校に入学してまだ2ヶ月も経たない5月下旬、中学1年生は全員 Spring English Days に参加します。イギリス・カナダ・アメリカ・オーストラリアなど様々な国籍の先生方から体験型の授業を受けることで実践的な英語を学びます。中3・高1の3学期を利用してニュージーランドの現地校に留学することもできます。思春期の多感な時期に親元を離れて異文化体験することは参加した本人にとって人間力を育む大きな一歩となります。英語力の向上だけでなく、様々な人の出会いを通して、社交的になった生徒も多くいます。

#### その他のグローバル教育プログラム ※いずれも希望制のプログラムです



##### サマー・ウインターイングリッシュデイズ

学内または近隣の施設にて実施する、スプリング・イングリッシュデイズの発展編プログラムです。場面に合ったダイアローグ練習やスキット活動などを行います。中3夏の海外ホームステイや他の海外プログラムに参加を希望する人たちには、特に積極的な参加を促しています。

##### インターナショナルスクールでのボランティア

葉山インターナショナルスクールで行われるサマースクールに参加する子どもたちと、ネイティブ講師との間に入り、アクティブラーニング活動をサポートします。子どもが好きである程度の英語力がある生徒に最適です。



##### 海外ホームステイ

毎年現地の学校に通ってペディと一緒に授業を受けます。教室で学んだ英語を実際に使い、コミュニケーションがとれたという成功体験を通して、英語学習へのモチベーションの向上や、グローバル社会への関心を深める絶好の機会になります。

※2024年度はニュージーランドを予定



##### ハワイ・プログラム

オアフ島にある現地大学のドミトリーを利用して、午前中はアメリカ文化の学習や英会話レッスン、午後は屋外でアクティビティを行うという体験型プログラムです。



##### 交換留学プログラム

高校1年の冬出発(主にオセアニア方面)と高校2年の夏出発(主に北米方面)がある1年間の交換留学プログラムに参加することができます。試験と面接がありますので中1から説明会を実施し、準備を促します。

# Learning Process 3

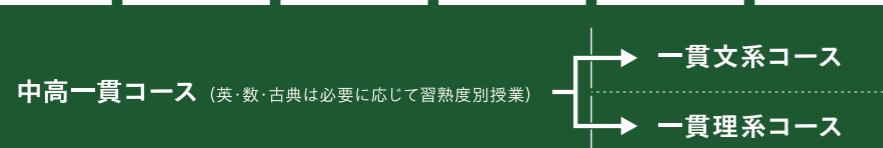
## 一人ひとりの目的・目標に 寄りそう学習指導

6カ年一貫の丁寧・豊富・継続的な学びを通して  
自分の将来の可能性を広げる

中高一貫生は、6年間を見据え、検定外教科書なども用いて授業を行っています。また、必要に応じて習熟度別授業を展開し、きめ細かく学習指導をしています。そのために高校からの入学生とは別クラスで学んでいきます。学力は、授業で学んだことを、多くの問題演習を通して自学自習する習慣をつけることで身につきます。一貫コースでは放課後の学習サポートや土曜日の講座を充実させて家庭学習を促します。

### 6年間のクラス編成

中学1年 中学2年 中学3年 高校1年 高校2年 高校3年



様々な個性を持つ仲間たちと、共に過ごす6年間。互いを尊重し高めあいつつ、共に育つ6年間でもあります。高校2年次から文系・理系に分かれたカリキュラム選択をしますが、ホームルームは共通です。



### Learning Process 01 まずは学習習慣の確立から

中学1年 中学2年

確かな学力をつけるためには、学習に向かう習慣作りが大切です。入学式後に、学習に関するガイダンスを行い、学院手帳を使って1日の生活を記録し、授業の予習・復習など家庭学習に取り組む時間をしっかりと定着させます。特に定期試験前には学習計画表を作成し、各担任がアドバイスをしながら、自ら学習を進める習慣をつけるよう指導しています。



### Learning Process 02 キャリア教育を通じて将来を意識

中学3年 高校1年

中学3年次で行われる職業体験プログラムやその準備活動などを通して、自分の将来を強く意識させています。また高校1年次で行われるリベラルアーツプログラムでは大学の学びを体験し、自分の進むべき方向をより具体的に考え、現時点での自らの課題にも向き合うことになります。結果として、学習に対する意識も大きく変化していきます。



### Learning Process 03 進路実現に向かって

高校2年 高校3年

学内や大学キャンパスで行われる様々な高大連携授業、進路講演会、卒業生による座談会など、進路を考えるイベントが多数開かれています。そして担任との面談を重ね、進むべき進路を確定させていきます。大学進学を目指した講習は、長期休暇を中心に多数開講されており、学習室やチューターズルームには、連日多くの生徒が訪れ、学習に真剣に向き合っています。

### 思考力・判断力・表現力を身につける

中高一貫コースでは、大学入試改革を念頭において、思考力や判断力、表現力などの本質的な学力を高め、知識や技能を活用できる課題解決力を育むことを目標にして、6年間の学びをサポートしています。

#### ■クリティカルシンキング

情報を多様な角度から検討し、論理的に理解する力を養うために、国語の授業で最新教材やタブレットを活用した体系的な学習を行っています。また、それと同時に時事的なトピックスにも関心を持つ姿勢を養います。

#### ■アクティブラーニング

生徒たちが、仲間とともに考えを深めながら主体的に課題を解決する力を養う授業を目指しています。大学入試改革を見据えて、単に知識量を増やすことに留まらず、問題に取り組む意欲を育てています。

#### ■対話的・協働的な学び

本校では、電子黒板やタブレットを活用して生徒同士で意見を交換したり、自分たちの考えをまとめて発表するなど積極的にグループ学習を取り入れています。こうした対話的・協働的学習を通して、問題解決能力やコミュニケーション能力などの21世紀型スキルを身につけることを目指します。

## 学習状況に応じた豊富なサポート体制

# 学力の育成

中高一貫コースでは、6年後の進路決定を見据えながら、充実した学力養成プログラムを行っています。中学校では、検定外教科書なども使って、必要に応じて習熟度別授業を行うなど、きめの細かい学習指導をしています。また、授業で基礎を固めたうえで応用的な問題演習を行う講習や、学習室でのeトレを使った学習指導など、確実に実力を培っていくための魅力的なプログラムがあります。またそれと同時に、理解が遅れがちな生徒に対しても放課後に手厚くフォローする体制も整っています。



### Support Program 01 土曜特別講座

#### 応用発展問題に取り組む上級講座

中学校では、全国の中高一貫生対象のペネッセ学力推移調査を受験しています。この模試の対策授業として、土曜日に年間30回の講座を開講しています。中2中3では、英数の2科目を実施しています。

#### オンラインによる講座受講が可能

土曜日には、部活動の練習や試合、習い事などが入り講習を受講できないこともあります。また、2021年度はコロナ感染症対応のために登校して受講することが難しい状況となりました。そのため現在はGoogle Classroomを使って授業を配信し、各自のスケジュールに合わせて学習できるかたちで実施しています。

### Support Program 02 中学夏期講習・補習

中1～中3

#### 午前中は指名制の補習、午後は応用発展問題を扱う講習

夏期講習は中1から高3まで毎年行われます。中学生については、午前中は普段の学習が遅れがちな生徒の指名制補習となります。午後は、難しい問題にチャレンジする様々な講習が組まれます。

### Support Program 03 一貫特別講座

高校1年

#### 進研総合学力テスト対策として、発展問題に取り組む講座

高1では、一貫特別講座を開講しています。ペネッセの進研総合学力テストで学習到達ゾーンA(難関私立大レベル)、S(国公立・早慶上智レベル)評価を目指して応用発展問題に取り組みます。講座は英語の3教科を平日の放課後に行います。

### Support Program 04 大学入試対策

高校2年 高校3年

#### 目標・目的に合わせて用意する予備校並みに充実した講座群

いよいよ大学入試に向けた勉強が本格化する高校2年生から、予備校並みに充実した多彩な講座を長期休業を中心に行います。今まで培ってきた独習力をベースに、実戦的な演習問題に数多く取り組むことで個々の学力を大学入試レベルにまで引き上げます。講座はいずれも希望選択制で無料。どの講座を受講するかは、志望大学や現在の学力レベルを踏まえながら選択することができます。



## 生徒一人ひとりの課題に向き合う手厚い指導

中学校では、学習室での支援や放課後の補習など、生徒一人ひとりの学習状況に応じて通常授業以外でも手厚い指導を行い、高校での学習の前提となる土台作りを行っています。

### A.L.T アドバンスト ラーニング タイム

- 学習内容を定着させる徹底した反復演習
- 学習室専属の管理担当者がフォロー

A.L.T.は学習塾でも使用されている「eトレ」と呼ばれる学習システムを利用して、スマートルーティングの単元別演習を取り組む自律学習の時間です。A.L.T.の最大の利点は、夜19時の下校時刻まで開放している学習室を利用して行うこと。クラブ活動が終わった後でも間に合います。また、学習室には専属の管理担当者が常駐していますので、学習の進捗状況を管理してもらいながら、わからない課題は質問することができます。

### B.L.T ベーシック ラーニング タイム

- 授業担当教員が指導
- 理解不足や疑問点の解決を早急にケア

B.L.T.は英数国で毎週放課後に組んでいる補習時間です。小テストで合格点を取れなかった、課題の仕上がりが十分でない、成績がふるわないなどの理由で、授業の中で指名を受けた生徒は参加しなければならないままとされています。この補習によって、理解不足や疑問点の解決を引き延ばさないようにしています。

## 1人1台のタブレットを活用して 主体性・協働性・創造性を身につける ICT 教育

中学高校全クラスにプロジェクター式電子黒板を設置。Wi-Fi環境も整い、1人1台のタブレットを活用した教育活動も大きく進んでいます。新型コロナウイルス感染症対策で休校が続いた時も、授業動画の配信やリモートでの質問タイム、各クラスの礼拝やホームルームにと、学校と家庭をつなぎ、学習活動を継続していくための心強いツールとなりました。反転学習や家庭学習、プレゼン、グループ活動など、学内外での学びの環境がさらに充実したものとなっています。



### Point 01 協働学習・反転学習の充実

本校ではタブレット端末を有効活用し、生徒が主体的に知識を習得する「反転学習」を推奨しています。教室では講義の代わりに自ら学んだ知識を確認し、協働学習を通して問題解決力を養うなど、学んだ知識を「使うことで学ぶ」活動を実践しています。

### Point 02 プrezentation力 UP

プレゼンテーションを行う際に最も大切なことは、伝えたいことを論理的に分かりやすく説明する力です。その能力を養うため、本校では国語の授業で「クリティカルシンキング」を導入し、物事を整理し順序立てて考えるスキルを身につけています。

### Point 03 自学自習(朝学習・家庭学習)の充実

Google Classroomやロイロノートを使って教科担当が準備した教材や資料、宿題を生徒のタブレット端末に配信し、生徒は家庭でそれらの課題に取り組み、提出します。こうして教員・生徒双方のスピーディーな授業が展開されています。

### Point 04 情報や体験の蓄積

本校では中高全教室に液晶型プロジェクター・Apple TVが設置され、Wi-Fi環境も整備されているため、学校内のどこにいてもiPadを利用してインターネットが利用でき、調べ学習が可能です。

### Point 05 保護者への迅速な連絡

学校と家庭との連絡をスムーズにするため、学校からの連絡や欠席連絡はJMOBILE(モバイルメール)を活用しています。また学年・クラス・授業・部活動などでGoogle Classroomを作成し、教員・生徒双方での情報共有を迅速に行っています。



活用例 01

iPad × 理科

### キャンパス内でフィールドワークを実施

中1理科(生物)の授業では、キャンパス内でフィールドワークを行いながらiPadで植物を撮影。その後、各自が撮影した植物の写真をグループで種類別に分け、観察記録を作成し発表を行います。



活用例 02

iPad × 体育

### 正しい体の動きをみんなで共有

中1保健体育のマット運動の授業では、4～5人のグループがメンバー一人ひとりの動きを本人のiPadで撮影します。その後、一人ひとりの動画をみんなで視聴しながら良い点や改善した方がよい点を確認します。



## 様々な場面で生徒を支える [図書館×司書教諭]

# 図書館とのコラボプログラム

授業はもちろん、行事の準備、レポート作成や入試小論文対策など、さまざまな場面で司書教諭が指導に加わっています。そのため、日常の中に司書教諭がいることが当たり前になっており、生徒たちは、進路や勉強、人間関係など何か困りごとがあったら、図書館で解決のヒントを探ろうと考えるほど、図書館が非常に身近な存在になっています。



### Collaboration Program 01 Newspaper In Education

#### 新聞記事を通しての学び

社会との接点になる身近な情報源として、新聞を様々な活用していく取り組みを進めています。新聞の閲覧やスクラップができる新聞コーナーは、中学棟と高校棟図書館に設置。プレゼンテーションやレポートの資料としても、積極的な活用を推奨しています。

### Collaboration Program 02 入試小論文対策

#### 新書に出会い、意見をもつ

中3から小論文対策として新書を読み始めます。図書館では希望進路別のおすすめ本コーナーを設置したり、何に興味があるのか、生徒の思いを直接聞きながら、本を紹介したりしています。生徒は新書で得た知識や考え方をまとめ、論理的に自分の考えを示す経験を積んでいます。

### Collaboration Program 03 ビブリオバトル

#### 本を通したコミュニケーション

「読んでみたい」と思わせる本の紹介を競う活気あふれるバトル。予選では、グループ内でお勧めの本を3分間で紹介し合いながらチャンプ本を決めます。決勝プレゼンでクラスチャンプ本に選ばれた本の紹介者は、大チャペルの一面に大きく映し出された本の表紙のもと、全校生徒の前での発表も行います。

### Collaboration Program 04 英語の多読

#### 無理なく続けられる

図書館には約3,000冊の洋書があり、すべて学院独自のレベル分けをしています。そのため、生徒は自分のレベルに合った本を選んで多読を進めることができます。また、高校生が作成したオススメ洋書のPOPが掲示されていて、自分にあった洋書を探しやすいうように工夫しています。



#### ◆ 司書教諭からのメッセージ

**読書以外の使い方も大歓迎!**  
**みなさんと共に成長する**  
**図書館を目指しています**

みなさんは、図書館でどんなことがやりたいですか？ 本校の図書館は読書をするだけの場所ではなく、進路の情報を集めたり、文化祭の準備をしたり、様々な使いかたができるよう工夫しています。みなさんの「やりたい」に応えられるよう、図書館は日々成長を続けていますので、「こんなこと図書館ではできないよね…」と諦めるのではなく、「図書館ならできるかも！」と希望をもって、たくさんの方々の「やりたい」を叶えてください。

個々の力を合わせ、  
人・自然・世界と「共に生きる」を実現する。

# 体験型プログラム

中高一貫校の強みを生かし、宿泊を伴う自然教室をはじめとする多くの体験型プログラムを実施することで、生徒たちは本校の教育目標である「共に生きる」体験を積み重ねます。これらの行事を通して生徒たちは集団生活の楽しさや難しさを経験しながら、あるべき人間関係や社会性を学び、豊かな人間性や協調性、自ら考える力などを育てていきます。



### 小網代の森自然教室(中1)

#### 自然が持つ価値を学び、“共に生きる”ことを実感する

自然と「共に生きる」意味を学び実践するために、NPO法人小網代野外活動調整会議のボランティアの方々を招き学習しています。実際に三浦半島に残る素晴らしい自然環境の小網代の森を散策し、自然が持つ価値や自然と共生する豊かな環境の創造を学んでいます。



### 木更津自然教室(中2)

#### サステナブルファームで、“持続可能な社会”について学ぶ

中学校では5月の最終週を総合学習週間としています。中学2年生はSDGs学習の一環として、木更津にあるクルックフィールズを訪れて環境問題について考え、オーガニック農業体験などの各種体験を行います。この体験を通して持続可能な循環型社会のあり方を学習します。



### 沖縄自然教室(中3)

#### 沖縄の戦争体験を学び、平和について深く考える

世界の隣人と“共に生きる”ことを考えた時、戦争と平和の問題は避けて通ることができません。日本で唯一、悲惨な地上戦が繰り広げられた沖縄。ひめゆり部隊についてなどの事前学習を行い、実際に沖縄の戦跡を巡ります。海洋学習や文化体験もあり、沖縄を満喫できるプログラムです。



### 海外での体験学習(高2)

#### 宿泊体験学習行事の集大成。世界の仲間と“共に生きる”

中1から積み上げてきた“共に生きる”。その集大成として、高2ではベトナムを訪れ、現地の学校を訪問し、国際文化交流プログラムを行っています。同じアジアで“共に生きる”同年代の学生が何を考え、どのような将来の希望を持っているかを知ることは自分自身を見つめ直すよい機会となります。

# Career Education

## キャリア教育

経験を力に、  
一人ひとりが自分の進むべき方向を見つけ、  
社会と自分の未来について考える

横須賀学院では「何のために学ぶのか」を探求するキャリア教育プログラムを提供しています。中学3年生の「職業体験プログラム」では、働くことの意味を考え、様々な職業について調べ学習を行い、職場体験を行います。高校1年生では、年間10回の土曜講座「リベラルアーツプログラム」を受講することで大学の学びについての理解を深めています。

### 自ら進むべき方向を考える充実した機会

横須賀学院の学院セミナリオでは、大学や様々な学術機関から講師の方々をお招きして、専門的な講義を数多く開講しています。その内容は年々充実しており、幅広い分野にわたって、年間100講座を超える講義が行われています。さらに、大学などの研究機関に実際に赴き、施設見学や研究体験などができるプログラムもあります。中学生は、学内で行われる様々な講義に参加することができます。こういった体験が、視野を広げ、進路を明確にする一助となります。目標の明確化は学習意欲に直結するため、生徒たちに積極的な参加を促しています。



### 視野を広げ、進路を明確にする 科学教育センター

横須賀学院科学教育センターは、小中高すべての児童・生徒へ教養教育の機会を提供します。知的探究の豊かさと深まりをすべての人へ。課外のレクチャー、ワークショップ、スタディツアー等を通じて生涯にわたって学び続けるひとを育てます。



### 学院セミナリオ

横須賀学院セミナリオとは課外に実施される教養教育のためのプログラムの総称で、放課後や長期休業期間を利用して年間100以上の講座が開講されています。外部から大学の先生や研究者を招いて発展的な学びを開講する講座もあれば、横須賀学院の教員が専門性を活かして実施する講座など、様々な講座をラインナップしています。



### 高大連携授業

6年一貫教育の後半では、大学での講義を見据えて高度な学びの場を設けています。例えば高校理科の授業では外部講師をむかえてDNAや遺伝子の実験を行うなど、高校単独では実施が難しい講義や実習に触れることができます。

### ▼ 学院セミナリオの一例

抗酸化作用を調べよう!  
横浜薬科大学薬学部 出雲信夫先生、古川恵先生

水族館で問題になる魚の病気について  
日本大学生物資源科学部 間野伸宏先生

SDGs時代の教育とユネスコスクール  
玉川大学教育学部 小林亮先生

かめはめ波を科学する  
東京都市大学工学部 岩尾徹先生

身近な話題から心理学を体験しよう  
和洋女子大学人文学部 高梨一彦先生

こんな時どうする?~ケーススタディで学ぶ看護倫理  
神奈川県立保健福祉大学 水戸優子先生

支えることを仕事にする  
東京大学大学院総合文化研究科 杉本光衣先生



### 放課後セミナー

研究機関や医療機関等で働く方を学校にお迎えし、放課後に出席講義を聴講できるプログラムです。内容は医学・生命科学・天文学などの理系分野や、哲学・経済学・芸術などの文系分野などそのテーマは多岐にわたります。はじめて探究活動に触れる生徒を意識しながら内容はとてもアカデミックなセミナーです。

### 教育連携協定を結んでいる大学

■ 横浜薬科大学  
■ 東洋英和女学院大学

■ 神奈川歯科大学  
■ 恵泉女学園大学

■ 神奈川大学  
■ 関東学院大学



Career Education 02

## 自律的・主体的な学びの姿勢を養う リベラルアーツプログラム（高1）

高校1年生を対象に行う全10回の講座で、土曜の午後や長期休暇などに開講しています。この講座の目的は、自分が大学でどのような分野に取り組みたいのかを探る第一歩を踏み出してもらうことです。



**STEP 01 資料調べの方法を学ぶ**  
図書館の司書教諭から資料調べの方法などのレクチャーを受ける

**STEP 02 学びを深める**  
専門分野の講師による講義で、時事問題や学問分野についての学びを深める

**STEP 03 レポート・小論文作成**  
自分の興味のある学問分野の研究についてレポートを作成する

**STEP 04 プrezentation**  
レポートをもとにプレゼン試験を行い、自ら考え、発表する力を身につける

**GOAL**  
授業と研究の違いを体感することで、本当に学びたい学問領域を探る



Career Education 03

## さまざまな職業に触れ、将来の自分について考える 職業体験プログラム（中3）

一貫教育の真ん中に当たる中学3年生では、学年と国語科、図書館の連携プログラムを通して、職業について考えます。国語科では、1学期のプレゼンテーション試験で「将来の夢」というテーマを設定し、1分間のスピーチを行います。その後、司書教諭と連携し、職業調べ活動を行います。図書館では、職業別に仕事に関する本を用意しており、レポートを作成します。このレポートの内容は、2学期のプレゼンテーション試験のテーマとなります。年末には、ロータリークラブの方から働くことの意義について講演をしていただき、3学期には、30数社の協力を得て、1社2~3人という恵まれた環境で2日間の職場体験を行います。この1年間のプログラムを通して、生徒たちは将来の自分について考え始めます。

### 職業体験プログラムで体験可能な業種

- 金融業、保険業（証券・銀行・信金・保険等）
- 製造業（自動車部品製造・造船等）
- 医療、福祉（病院・保育園・介護福祉施設等）
- 教育、学習支援業（幼稚園等）
- 卸売業、小売業（百貨店・書籍・衣料・石油等）
- 情報通信業（放送）
- 運輸業（旅客輸送）
- 宿泊業、飲食店（飲食・ホテル等）
- 公務（消防署）

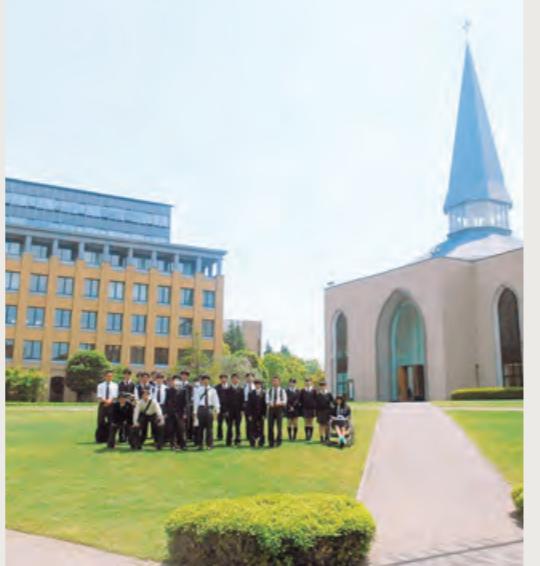
その他



## 充実した教育連携で進路選択の可能性を広げる

# 青山学院との連携

横須賀学院と青山学院は、同じくキリスト教を土台とした教育理念を持つ学びの場として教育提携を深めてきました。毎年行われる高大連携授業には横須賀学院から多数の生徒が参加し、それぞれの進路選択について考える大切な機会となっています。また、青山学院大学への推薦入学は中高一貫生が優先的にエントリーできることもあって、中学からの入学生にとって魅力的な進学制度となっています。



University Connections

**青山学院大学・全学部の講義を受講**  
希望進路と学部学科のミスマッチを防ぐ

## 高大連携授業(高1~高3)

青山学院大学の全11学部、15講座を青山学院高等部や青山学院横浜英和高校の生徒とともに大学キャンパス(青山キャンパス・相模原キャンパス)で受講します。高校1~3年生が対象で、5月から11月の土曜午前に実施しています。教授、准教授の先生方が、各学科で実際に研究している内容を高校生向けにわかりやすく解説してくれます。



## 青山学院大学への推薦入学制度 推薦入学枠35名

2009年に調印された教育提携に基づき、横須賀学院高校から青山学院大学への推薦入学枠が設定されています。

この制度は、キリスト教教育を6年間受けた中高一貫生を優先して適用していきます。

### ■学部別推薦入学枠(2023年度大学入試)

青山学院大学(計35名)		指定校・提携校推薦 23名 キリスト教学校同盟校推薦 12名	
経済学部	2名	文学部	5名
経営学部	4名	教育人間科学部	2名
国際政治経済学部	2名	社会情報学部	2名
法学部	2名	理工学部	4名
総合文化政策学部	2名	地球社会共生学部	4名
コミュニティ人間科学部	6名		

### 推薦条件

青山学院大学への推薦条件には、青山学院大学側が提示する推薦基準と横須賀学院高等学校側の内部推薦条件の2種類があります。大学が提示する推薦基準の主なものとして、高校在学中の評定平均値が5段階中おおむね4.0以上という基準があります。横須賀学院側の条件には、「学校の成績と同程度に模試の成績も重視する」「卒業時までに英検2級以上取得」「高大連携教育への参加」などがあります。

## 中高6年間の一貫した手厚いサポート

# 学習指導・進路指導プログラム

横須賀学院の中高一貫コースでは、大学入学共通テストなどの入試改革や社会の変化をふまえて、思考力や判断力、表現力などの本質的な学力を高めて知識や技能を活用できる課題解決力を育みます。また、6年間の教科学習によって、進路希望を叶えるための実力をつけられるよう、様々なプログラムを通して生徒一人ひとりを手厚くサポートしています。



### 主なPROGRAM

**中学1年～中学3年**  
学力推移調査(全国の私立中一貫生が受験)を実施し、「学力到達ゾーン」で大学の合格可能性を確認しながら、高校卒業後の進路を見据えて日々の学習に取り組みます。

### 高校1年

スタディサポートを活用して、二者・三者面談を実施し、一人ひとりに向き合いながら、生活・学習両面について、丁寧に指導していきます。そのうえで、文系・理系のコース選択を、自分のやりたいことや適性を考えながら決定していきます。

【進路ガイダンス】 ●年間指導計画と3年間の見通し ●学習・生活の基本

### 高校2年

文・理コースに分かれ、進路ガイダンスやオープンキャンパス参加などを通じて、自分の将来をイメージしながら、目標とする進学先を検討します。同時に、受験科目を意識して実力を養成し、受験に向けての学習態勢を整えます。

【進路ガイダンス】 ●大学入試の仕組み ●受験に向けての組み立て

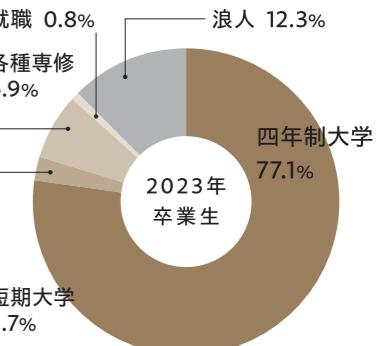
### 高校3年

受験までの綿密な学習計画を立て、受験科目の実力を合格可能なレベルまで高めます。志望校を決定し、自分に合った入試に向けてのプランを、三者面談を通して確定していきます。入試方法が決定したら、万全の態勢で受験に臨めるようサポートしていきます。

【進路ガイダンス】 ●推薦・一般受験 ●共通テスト利用



### ■卒業生の進路状況



### ■2023年度大学入試 合格実績一覧

#### 国公立大学

一橋大学	1名	室蘭工業大学	1名
東京学芸大学	1名	北見工業大学	1名
東京農工大学	1名	大阪教育大学	1名
横浜国立大学	2名	新潟大学	1名
横浜市立大学	6名	長崎大学	1名
神奈川県立保健福祉大学	6名	大分大学	1名
茨城大学	2名	都留文科大学	1名
北海道教育大学	1名	川崎市立看護大学	1名

#### 私立大学

早稲田大学	11名	駒澤大学	21名
慶應義塾大学	5名	関西学院大学	2名
上智大学	3名	同志社大学	2名
東京理科大学	10名	津田塾大学	1名
明治大学	46名	東京女子大学	2名
青山学院大学	42名	日本女子大学	5名
立教大学	26名	東洋英和女学院大学	10名
中央大学	12名	昭和薬科大学	5名
法政大学	34名	東京都市大学	22名
学習院大学	15名	芝浦工業大学	4名
国際基督教大学	1名	東京農業大学	23名
成蹊大学	15名	北里大学	17名
成城大学	11名	帝京大学	8名
明治学院大学	22名	神奈川大学	88名
日本大学	57名	東海大学	57名
専修大学	52名	関東学院大学	92名
東洋大学	34名	他多数	



## 横須賀学院中学校の1日

# SCHOOL LIFE

登校時間は8時20分。朝の礼拝から一日が始まります。授業は午前3時間、午後3時間で、中3は週に2回、7時間授業があります。部活動の終了時間は、夏は17時30分、冬は17時になっていますが、学習室は完全下校時刻の19時まで開放しているため、部活動終了後に自主学習に励む生徒が多く見られます。



互いに尊重し合い、支え合う学校行事

# SCHOOL EVENTS

チームやクラスの団結力を強める体育祭や合唱コンクール。自分たちが楽しむだけではなく、来場者が楽しめるように工夫を凝らす文化祭。キリスト教学校ならではの莊厳なセレモニーなど、横須賀学院には数々の楽しい学校行事があります。みんなで励ましあい、支えあう経験からは、かけがえのない絆と思い出が生まれ、学校生活に豊かな彩りを与えてくれます。

- 4月 新入生オリエンテーション (中1: 入学式前)  
全校縦割り遠足
- 5月 自然教室 (中2: 木更津3泊4日 / 中3: 沖縄3泊4日)  
総合学習週間  
(中1: スプリング・イングリッシュデイズ、小網代の森、SDGs学習)
- 6月 キリスト教教育週間  
花の日礼拝  
体育祭
- 7月 夏期講習  
サマー・イングリッシュデイズ (2日間)
- 8月 シドニーホームステイ (2週間)  
夏期講習
- 9月 楠木祭 (文化祭)
- 10月 芸術鑑賞 (劇団四季)
- 11月 収穫感謝礼拝  
合唱コンクール  
クリスマスツリー点灯式
- 12月 クリスマス特別礼拝  
ページント  
メサイア
- 1月 職業体験 裁判傍聴 (中3)  
ウィンター・イングリッシュデイズ (2日間)
- 2月 マラソン大会 (海の公園)



## 夢中になって取り組む部活動

# CLUB ACTIVITIES

横須賀学院の部活動は、仲間や先輩・後輩と共に、豊かな人間関係を築きながら、技術や体力の向上、規範意識や社会性、自主性を高めることを目標に行っています。楽しさや喜び、ときには悔しさを他者と分かち合う中で、学校生活をより充実したものにしています。

### 運動部 委員会

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| 運動部             | 委員会           |
| ソフトボール部(高)      | 学級委員会         |
| バドミントン部(中・高)    | 美化委員会         |
| バスケットボール部(中・高)  | 風紀委員会         |
| ソフトテニス部(中・高)    | 図書委員会         |
| 柔道部(高)          | チャペル委員会       |
| 陸上競技部(中・高)      | 放送委員会         |
| 器械体操部(高)        | キリスト教青年会(中・高) |
| 卓球部(高)          |               |
| バレーボール部(高)      |               |
| 剣道部(高)          |               |
| 空手道部(高)         |               |
| テニス部(高)         |               |
| 野球部(高)          |               |
| サッカー部(中・高)      |               |
| アメリカンフットボール部(高) |               |

### 文化部

- |                 |  |
|-----------------|--|
| 家庭科部(中)         |  |
| ハンドベル・クワイア(中)   |  |
| 写真部(中・高)        |  |
| 美術部(中・高)        |  |
| 吹奏楽部(中・高)       |  |
| 理科学部(中・高)       |  |
| 将棋部(高)          |  |
| イングリッシュクラブ(中・高) |  |
| 料理研究部(高)        |  |
| 茶道部(高)          |  |
| 書道部(高)          |  |
| 軽音楽部(高)         |  |
| イラストレーションクラブ(高) |  |
| インターアクションクラブ(高) |  |



# UNIFORM

その日の気分・季節に合わせて着こなし自由。女子は冬服・夏服とともにスラックスを選択できます。新しく導入されたボロシャツは男女ともに「デザインがオシャレ」「着心地もよく涼しくて快適」と生徒の評判も上々です。



冬服



夏服



ボロシャツ

学校生活を支える充実した環境

## SCHOOL FACILITIES

キャンパスは記念艦「三笠」のある三笠公園に隣接しており、教室の窓からは間近に東京湾や房総半島を望むことができます。明るく開放的なキャンパスには小中高校舎のほか、3つのグラウンド、荘厳なチャペル、4階建ての体育館、カフェテリア等があり、充実した学校生活を送ることができます。



①中高生専用のグラウンドです。陸上トラック、合計3面のテニスコートを併設します。

②一貫コースの高校生も生活する、南棟・北棟からなる校舎です。

③アリーナ、小学校体育館、柔道場、部室からなる体育館です。

④2006年に完成した中学校の校舎です。教室10クラスと学習室があります。

⑤2010年に完成した学院の中心部です。大小2つのチャペル、チャペル棟職員室などからなります。

# HISTORY

学校沿革

青山学院第二高等部を引き継ぎ、横須賀学院中学校・高等学校開校 初代理事長小崎道雄、初代院長・校長武部啓	1950
松尾造酒蔵、第二代理事長に就任	1953
旧木造体育館改修	1960
小坂嵩城、第二代院長に就任	1961
旧高校校舎増築及び旧第一校舎改装	1964
クリスマス音楽会「メサイア」 横須賀市文化会館にて初めて一般公演	1965
生徒食堂開設	1968
旧体育馆の増改築工事完了 小学校スクールバス購入	1969
松尾理事長のまま、第三代院長に就任 礼拝堂の改築及びグランドの大改修	1970
斎藤忍、高等学校長に就任	1972
中学校・高等学校校舎落成	1978
旧校舎跡地を中・高グランドとして完成	1979
旧校舎4号棟を全面改修し、2号館とする 創立30周年記念行事として講演会（中野好夫氏）を開催 「横須賀学院の教育」出版	1980
紀要「いなほ」創刊号発行	1981
斎藤忍高等学校長、中学校長兼務	1982
チャペル改修 阿部志郎理事、理事長に、斎藤忍中・高校長、第四代院長に就任 体育館落成	1985
那須黒磯に校外施設「星望山荘」開設	1992
週五日制完全実施及び制服改定 井戸義子、小学校校長に就任	1996
1号館空調設備完成	1997
津田一路、第五代院長に就任	1998
中学校、第1回海外語学研修（イギリス・オックスフォード）を実施 小学校特別教室棟落成	1999
創立50周年記念事業として 口吹奏楽部定期演奏会 ロビンガート【人文字】 口記念式典、感謝会、記念誌発行等を実施	2000
藤野利夫、中学校・高等学校長に就任 1号館北棟にPC教室・MM教室完成	2001
選抜クラス設置 食堂外部業者へ委託「くすの木」開店 國岡昭夫、第四代理事長に就任	2002
高等学校1年生から新カリキュラム・3類型での学習始まる。 総合学習・学校設定科目等の特色 塩田征雄、小学校校長に就任 高等学校 オーストラリアで第1回国際交流プログラム	2003
小見山茂樹、事務長に就任 マリットビル高校来訪、学院オーストラリアーク開催	2004
3号館（中学棟）定礎式。4月から中学生の中等での生活が始まる。	2005
1号館1階にカウンセリングルーム設置	2006
中学と高等学校に副校長制導入。中学校 マルタ共和国での語学研修 第2視聴覚室、第2音楽室大改修	2007
学校法人青山学院と学校法人横須賀学院の「教育提携協定」締結 体育館奥に特別棟（小学校教室、囲碁室、同窓会室）竣工 中学・高等学校3学期制へ回帰。高校1年次のみ土曜授業復活。	2008
新年教職員始業式で青山学院山北宣久院長が説教	2009
井戸義子、第六代院長に就任 創立60周年記念事業 チャペル棟落成 60周年記念式典	2010
学校法人青山学院との教育提携の更新、双方の院長同士で協定書に調印 保々和宏、第五代理事長に就任 オーストラリア・マイアミ州立高校生34名来訪、「ブリッジング・ワールド・トゥゲザー」	2011
横須賀学院の「ミッションステートメント」制定 横須賀学院（小学校・中学校・高等学校）いじめ防止基本方針施行 オーストラリア・マイアミ州立高校生28名来訪 横須賀学院・マイアミ州立高校 友好親善協定調印	2012
学校法人青山学院との教育提携の更新、双方の院長同士で協定書に調印 仲井宣雄、小学校校長に就任 青山学院との教育提携強化、提携校推薦入学枠を新設	2013
二瓶淨寿、第七代院長に就任	2014
創立70周年	2018
	2020

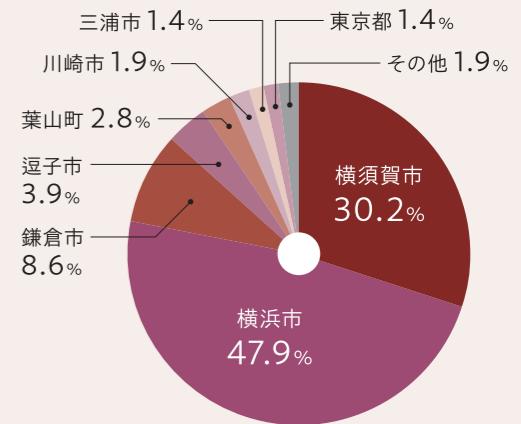
## ■ 生徒在籍数 (2023年5月現在)

	横須賀学院中学校			横須賀学院高等学校（一貫生）		
	1年生	2年生	3年生	1年生	2年生	3年生
男子	82名	65名	73名	44名	49名	47名
女子	48名	41名	51名	48名	39名	23名
合計	130名	106名	124名	92名	88名	70名
クラス数	4	3	4	3	3	2

横須賀学院高等学校（高入生）			
1年生	2年生	3年生	
男子	157名	224名	
女子	204名	263名	
合計	361名	487名	
クラス数	9	14	13

## ■ 在校生の居住地域 (2023年5月現在)



## ■ 併設小学校からの進学者数

	2023	2022	2021	2020	2019	2018
男子	10名	15名	11名	9名	14名	14名
女子	10名	8名	9名	20名	13名	17名
合計	20名	23名	20名	29名	27名	31名

